

「こんな地域と職場をつくりたい」運動全国交流集会・特別報告（2021/5/15）

蒲原病院、湖西病院住民アンケート調査による 地域医療を守るとりくみ

市立湖西病院職員労働組合（静岡）

はじめに

厚労省は、2019年9月26日、地域医療構想の再検証として「公立・公的病院の再編統合」による424病院を名指しで公表し、静岡県は41病院中13病院が対象となりました。

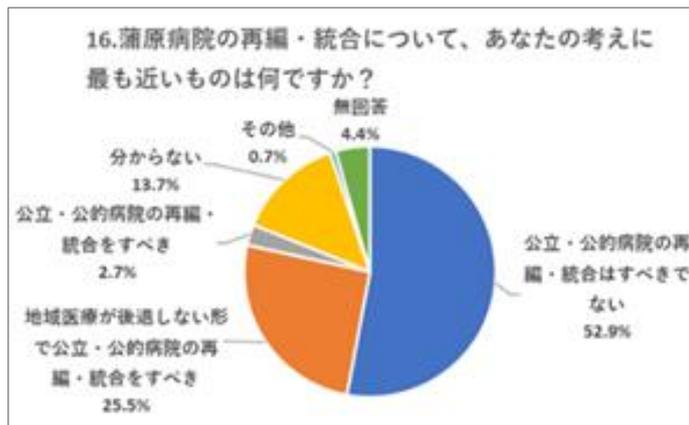
こうしたなか昨年1月29日、自治労連中央委員会で「こんな地域と職場をつくりたい」運動の方針が提起され、静岡自治労連はリーディングケースの実践として、再編統合を名指しされ自治労連単組のある蒲原病院と湖西病院で住民アンケート調査を実施することを決めましたが、コロナの感染拡大に妨げられ、収束の時期を見図りながら蒲原地域は昨年6月27日、湖西地域は11月3日に実施しました。

蒲原病院住民アンケート調査について

蒲原病院住民アンケート調査は、静岡自治労連、静岡地方自治研究所、富土地域労連、県医労連、「蒲原病院をよくする会」の住民と共同で実施し20人が参加しました。コロナ対策や熱中症対策を十分にした上、1000枚のアンケート用紙を二人1組で富士川地域・蒲原地域へポストイングし、住民へのヒアリン

グも行いました。

ヒアリングでは、ほとんどの住民が蒲原病院の再編統合について知っており関心の高さが伺えました。意見では「個人病院がどんどんなくなってきているなか蒲原病院まで再編



統合されたら困る」、「病院がなくなったら困るし、遠くへ通院も大変」と地域医療に対する不安の声が聞かれました。調査に参加した若い職員は「地元の人々の声を聞き、医療は信頼と信用だと思った。この地域には蒲原病院は必要だと強く感じました」と住民の地域医療への期待の大きさを感じていました。

回答は408人から寄せられ回答率は40.8%となりました。集約したアンケートは三重短期大学の長友教授に分析を依頼しまとめました。アンケート結果の特徴点については、「あなたは共立蒲原総合病院を受診したことがありますか」の問いに、「ある」88.0%（359人）

2021年6月23日

と多くの住民が受診しており、蒲原病院を選んだ理由については、「自宅・職場から近い」70.3%（287人）、「公立病院だから信頼できる」40.9%、「医師・看護師などの対応がよい」23.0%と、病院が近隣にあり通いやすい点や公立病院に対する信頼の高さが伺えました。また、蒲原病院の再編・統合については、「公立・公的病院の再編・統合はすべきではない」216人（52.9%）、「地域医療が後退しない形で公立・公的病院の再編・統合をすべき」104人（25.5%）と両者を合わせれば、地域医療の提供体制の維持を願う声は80%近くに及びました。

静岡自治労連は、9月11日、蒲原病院の西ヶ谷院長へアンケート結果を報告し、院長からは「たいへん心強い。蒲原病院を残して欲しいという住民の強い意識を感じた」「当院も存続に努力していくべきだと思った」と地域医療を守る決意が語られました。



蒲原病院と懇談する静岡自治労連(左)

湖西病院住民アンケート調査について

湖西病院住民アンケート調査は、静岡自治労連、湖西病職労、浜松市職、浜松医療センター労組、「西部地域の医療を守る会」の住民と共同で実施し40人が参加しました。アンケート用紙1100枚を5つの地域に分かれてポスティングし、住民へのヒアリングも行いました。

ヒアリングに応じた住民からは「湖西病院



がリストに挙がっているとは知らなかった」と驚く方が多く、「夫が週2回通院している。湖西病院が無くなったら困る」など病院存続を求める声が聞かれました。調査の参加者からは「湖西病院の再編統合について知らない住民が多く、もっと情報が発信されるべきだと思った」、「職員として住民の生の声が聴けてよかった。改善点や応援してくれる人もいて良いモチベーションになった」と充実した取り組みに大変満足していました。

回答は341人から寄せられ回収率31.0%となり、集約したアンケートは引き続き長友教授に分析してもらいました。アンケート結果の特徴点については、湖西地域に「不足していると感じる診療科はありますか？」の問いに、「産婦人科」と回答した方が61.0%（208人）と最も多く、全国的に課題となっている産婦人科の休診や出産ができる病院の集約などの問題が湖西地域にもあることが分かりました。

また、湖西病院の再編統合については、「公

立・公的病院の再編・統合はすべきではない」36.7%（125人）、「地域医療が後退しない形で公立・公的病院の再編・統合をすべき」36.7%（125人）となり、両者を合わせれば地域医療の提供体制の維持を願う声は73.4%と非常に高くなりました。

アンケート結果については、3月22日、湖西市の影山市長と湖西病院の田内事務長へ報告し、影山市長は「アンケート用紙は私の自宅にも来た、記入しました」と市長も協力したことが述べられ、「現時点で湖西病院の再編統合は考えていない」、「湖西病院は地域医療の拠点として住民に求められている」と国の地域医療構想は地域の実態と乖離していることが述べられました。



湖西市の住民に声をかけアンケートを取りました

最後に

2つのアンケート結果を通じて長友教授からは「通常だったらこのようなアンケートは2割程度の返信ですが3割4割超えと多かったことは特筆に値します。アンケート結果から地域住民のみなさんによる両病院への信頼と期待、そして地域医療をめぐる問題への関心の高さが表れた」、今後は「アンケート結果を、地域の方々とともに共有することから始めてはいかがでしょうか」とアドバイスをい

ただきました。

静岡自治労連は、調査に協力してくれた地域へアンケート結果を返すため、両地域での「報告集会」開催を予定しています。5月8日に湖西市で「アンケート報告集会」を開催しウェブも含めて40名の地域住民や静岡自治労連の仲間、病院関係者が参加しました。参加者からは「病院を無くしたくないとみんなが気持ちを一つにして行動を起こしたことに本当に感動しました」「病院は地域経済や雇用の拠点になり、公共事業よりも貢献度が大きいとの話が印象に残りました。病院の再編・統合を食い止めましょう」「コロナで医療従事者が大変な状況にあるなか再編・統合が進められていることに怒りを感じます。地域住民としてやることはやろうと思いました」など感想が寄せられました。

この運動をきっかけにコロナ危機によって明らかになった医療体制の脆弱性を改善させ、地域医療を守り充実させていくため地域住民と一緒に取り組みを継続していきたいと思えます。